

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2011 年 5 月 4 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B															
洛南高校	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	23	1st	16	17	2nd	21	15	3rd	14	20	4th	15	OT			新潟商業
23	1st	16															
17	2nd	21															
15	3rd	14															
20	4th	15															
OT																	
75 ○		66 ●															

主審:Referee
藤垣 庸二 (宮城県)
副審:Umpire
増淵 泰久 (栃木県)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代工業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	大元 孝文	cap	28	2	10	2	2	4	×	黒崎 海斗	CAP	4	0	2	0	1
5	×	荒谷 優斗		9	0	4	1	1	5	/	笹川 錬也		0	0	0	0	0
6		井島 啓貴		-	-	-	-	0	6	×	小川 健太		3	0	1	1	0
7	×	木澤 義柳		4	0	2	0	2	7	×	江部 大樹		4	0	2	0	1
8	/	清水 久能		2	0	1	0	1	8	/	神田 佑成		13	1	5	0	1
9		伊藤 諄哉		-	-	-	-	0	9	×	近藤 孝仁		17	1	7	0	0
10	/	河合 祥樹		4	0	2	0	1	10	/	小柳 多功		7	0	3	1	1
11	/	伊藤 達哉		8	0	4	0	1	11	×	笹原 一生		6	0	3	0	1
12	×	仁平 拓海		10	0	5	0	1	12	/	伊藤 賢人		4	0	2	0	0
13	×	宮脇 隼人		6	0	2	2	3	13	/	大矢 孝太郎		6	0	3	0	1
14		成田 穂高		-	-	-	-	0	14	/	今井 惇司		0	0	0	0	0
15	/	寺部 亮佑		4	0	2	0	1	15	/	藤井 智己		0	0	0	0	0
16		西戸 良		-	-	-	-	0	16	/	新沢 亮太		2	0	1	0	0
17		森井 健太		-	-	-	-	0	17	/	加藤 豪		0	0	0	0	0
18		渡部 裕地		-	-	-	-	0	18	/	渡辺 樹大		0	0	0	0	0
コーチ		吉田 裕司							コーチ		中屋 廣昭						
Aコーチ		作本 信夫雄							Aコーチ		丹波 浩之						
合 計				75	2	32	5	13	合 計				66	2	29	2	6

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率* イントシュート 2P:2P率* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームともマンツーマンでスタート。開始早々洛南は#4大元、#5荒谷のドライブで連続得点を上げ、主導権を握る。新潟商も#4黒崎のレイアップなどで小刻みに点を加えるが、なかなか流れをつかめない。その後も洛南はゴール下にボールを集め、じりじりと差をつけ、さらに激しいディフェンスで新潟商のターンオーバーを誘う。残り4分から新潟商は得点がなかなか決まらず、23-16で1Q終了。

2Q、勢いそのまま洛南は#12仁平のポストプレイなどで引き離そうとするが、残り7分新潟商の連続インターセプトからの速攻などで29-29と追いつかれてしまう。残り4分、洛南#4大元が体を張ったポストプレイでバスケットカウントをもらおうとチームは息を吹き返す。残り2分で5点差に開いたところで新潟商はたまたまタイムアウトを取る。その後は新潟商#8神田のジャンプシュートやゴール下へのアシストなどで落ち着きを取り戻し、結局40-37の洛南リードで前半を終了した。

3Q、新潟商は洛南のセンター陣に激しいプレッシャーをかけ、ミスを誘う。ここでこれまでリバウンドに大活躍の洛南#13が3つ連続でファウルを犯すなどして洛南は苦しい流れに。すかさず新潟商はのそそきを見逃さず、#9近藤の3Pで42-42同点にすると、ファウルトラブルに苦しむ相手に向かって果敢に1on1をしかけフリースローを得て逆転に成功する。しかし、ここで再び洛南エースの#4大元が3Pを決めるなど一進一退の攻防が続き、55-51で洛南リードのまま3Q終了。

4Q、洛南はインサイド、アウトサイドともにバランス良く攻撃をしかけ、新潟商のディフェンスをしぼらせずに加点していく。残り7分63-55とリードを広げられた新潟商はタイムアウトを請求して立て直しを図るも、なかなかシュートが決まらない。残り4分以降、洛南は#11伊藤のスキルの高いドライブなどで点差を縮めさせない。残り2分、71-61の10点差となったところで新潟商#8神田の3Pで勝利への執念を見せるが、洛南は落ち着いてボールをコントロールし、75-66で洛南が勝利した。